

8.交通安全・無電柱化・道路保全

公共交通安全事業

既存道路において、事故が多発し、緊急に交通安全を確保する必要がある箇所について、公安委員会と連携し、交通安全施設等を整備していきます。

- 歩道、交差点改良、自転車利用環境等
- 道路標識、防護柵、道路照明、視線誘導標等

主要施策

■ 事故危険箇所での集中的対策

幹線道路の安全対策を効率的・効果的に進めるため、特に事故率の高い事故危険箇所において、交差点改良等の事故削減対策を集中的に実施します。

■ あんしん歩行エリアの整備

市街地内の事故発生割合の高い地区において、歩行者等の通行経路の安全性が、歩行者等を優先する道路構造等によって確保されたあんしん歩行エリアの整備を推進します。

基本方針

- ① 幹線道路の事故削減対策の科学的、集中的実施
- ② 生活道路を中心とした歩行者・自転車安全対策の総合的実施
- ③ 通学路における歩道整備の推進

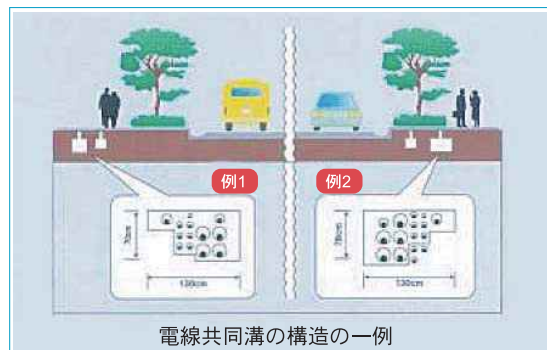


国道507号(八重瀬町伊覇) 公共交通安全事業

道路の整備

無電柱化推進事業

無電柱化推進事業では、安全で快適な歩行空間の確保、都市災害の防止、情報ネットワークの信頼性の向上、都市景観の向上等を目的として、電線共同溝などの整備を進めています。特に沖縄県は、台風による電柱の倒壊で道路交通ネットワークや情報通信ネットワークの遮断、停電が発生するといった危険があり、無電柱化の推進は防災の観点からも重要となっております。



電線共同溝の構造の一例



平良城辺線(宮古島市城辺) 平成 15 年台風 14 号で倒壊した電柱



県道39号線国際通り(那覇市久茂地) 無電柱化推進事業

道路防災保全事業

既存道路において、既存の施設をそのまま放置すれば、交通に支障を及ぼす恐れのある箇所について、災害等の発生を未然に防ぐための事業です。



対策前



対策後

南風原知念線（南城市玉城糸数） 災害防除

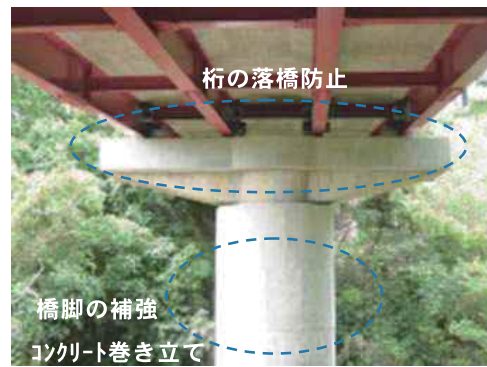
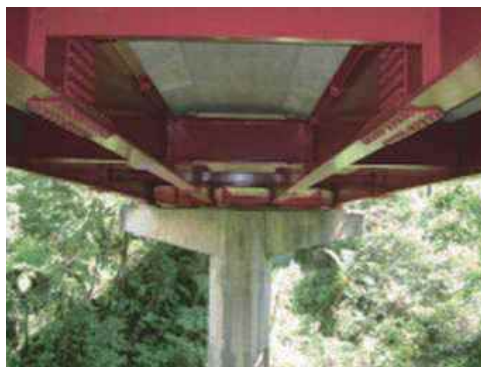
災害防除

道路法面や擁壁、トンネル等、危険な兆候をきたしている箇所について、対策を行います。

橋りょう補修

橋梁の老朽化や塩害等による劣化損傷が原因の崩落事故を未然に防ぐため橋梁の補修を実施しています。また、大規模地震等においても落橋や倒壊などの大きな損傷を防ぎ、安全で信頼性の高い道路ネットワークを確保するため、古い基準で設計された橋梁の桁の落下防止対策や橋脚の補強など、橋梁の耐震化を推進しています。

道路の整備



国道331号慶佐次橋（東村慶佐次）橋りょう補修

道路橋の計画的な維持管理の推進

これまでに整備された多くの道路橋では、老朽化や塩害等による劣化損傷が多く発生しており、近い将来、修繕や更新費が飛躍的に増加することが大きな課題となっています。県では、修繕・更新の優先度を考慮した「橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、予算の平準化と橋梁の長寿命化を図るため計画的な維持管理の取組を進めています。



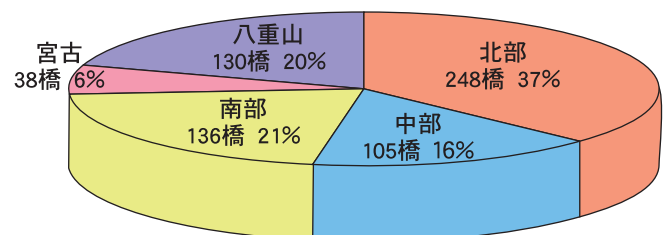
コンクリート桁の鉄筋露出



鋼桁の腐食

事務所別対象橋梁数

N=672橋



9.道路の維持管理

本県は、亜熱帯性気候の特性から、路肩、法面等の雑草の成長が著しく、また、急速なモータリゼーションの進展に伴う交通量の増大、車両の大型化によって路面の損傷が著しくなっています。このため県では、道路を常に安全で良好な状態に維持するため、道路パトロール、路肩の除草、路面の清掃、補修等を行い、歩行者の交通事故防止と車両の安全通行、道路環境の保全に日々努力しています。

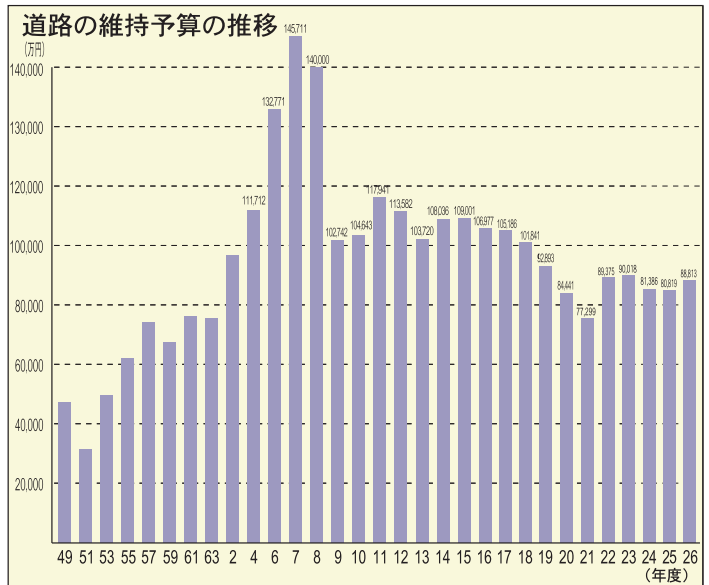
近年、道路の維持予算は財政難の状況から毎年減少してきており、適正な維持管理を確保するには苦しい状況にあります。道路植栽等の管理において地域住民の道路ボランティアを募り、それに対して県が支援・助成を行っているところです。平成26年3月現在、ボランティア数319団体、参加者数6,508人となっております。



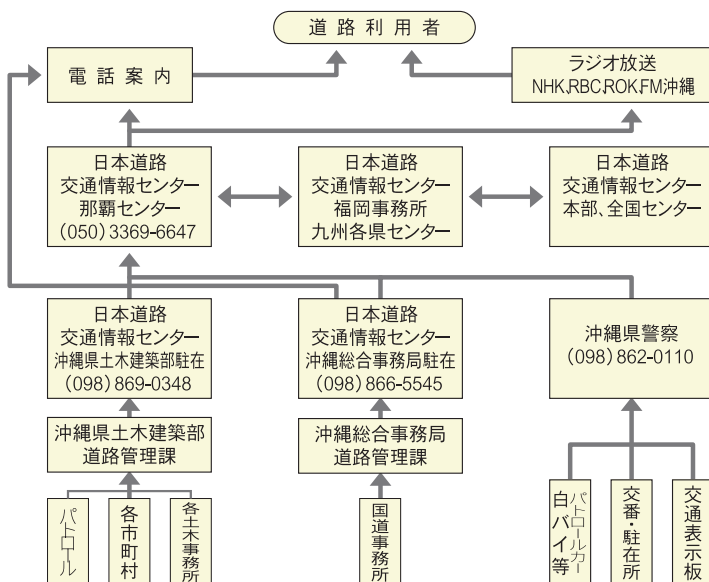
ボランティアによる植栽管理



道路パトロール



■ 日本道路交通情報センター



■ 道路の維持管理

- 沖縄自動車道、那覇空港自動車道(南風原道路)
西日本高速道路株式会社 九州支社 沖縄管理事務所
- 一般国道(指定区間)
国土交通省・内閣府 — 沖縄総合事務局
 - 北部国道事務所 ☎0980-52-4350
 - 南部国道事務所 ☎098-861-2336
- 一般国道(指定区間外)、主要地方道、一般県道
知事 — 土木建築部 — 道路管理課 ☎098-866-2665
 - 北部土木事務所(名護市) ☎0980-53-1787
 - 中部土木事務所(沖縄市) ☎098-894-6512
 - 南部土木事務所(那覇市) ☎098-867-2941
 - 宮古土木事務所(宮古島市) ☎0980-72-2769
 - 八重山土木事務所(石垣市) ☎0980-82-2942
- 市町村道
市町村長 — 市町村役場、建設課等

道路の整備

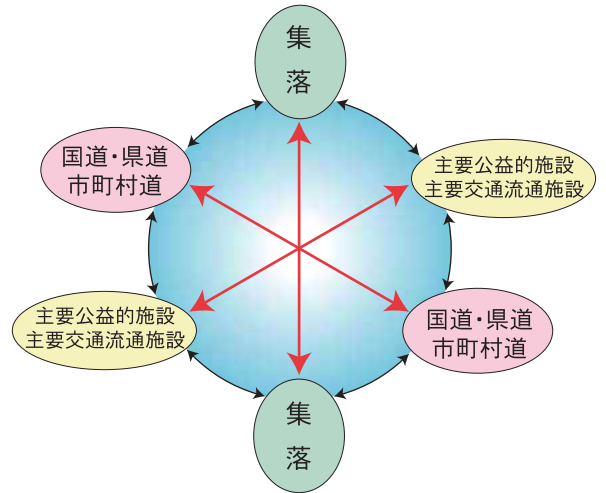
道の相談室 (相談対象は沖縄県内の国道・県道・高速道路です。)

TEL 098-860-5154 [沖縄総合事務局 [道の相談室]] TEL 098-866-3200 [沖縄県 [道の相談室]]
 TEL 098-870-5852 [西日本高速道路株式会社]
 受付時間：AM 9:30 ~PM 5:00 (但し、土・日・祝祭日・年末年始を除く。FAX、電子メールは24時間受付)
 FAX:098-861-9929 [沖縄総合事務局「道の相談室」] 電子メール michi@soudan@ogb.cao.go.jp

10.市町村道

私たちが住んでいる町の隅々まで行きわたっている道路で、次のような役割を担っています。

- ① 国道、県道及び市町村道を相互に連絡する道路
- ② 集落間を結ぶ道路
- ③ 空港、港湾、学校、公民館、観光地等の主要公的施設及び主要交通流通施設の機能を効率的に発揮させる道路



市町村道事業の目的

道路改築（一般）
幹線市町村道の現道拡幅や線形改良またはバイパス等の整備

特殊改良
道路の局部的な線形が不良なため、交通障害となっている区間の除去を行うもの

交通安全
交通事故の防止、歩行者等の安全で円滑な移動を確保する交通安全施設等の整備。

道路改築（過疎代行事業）
過疎地域における基幹的な市町村道の新設及び改築事業を道路管理者である市町村に代わり県が整備を行うもの

地域活力基盤創造交付金
各地域の課題に対応し、複数一体となって行われる市町村道事業であり、地方の創意工夫を活かした個性的な地域づくりを推進するもの

平成22年度より補助金から交付金制度へ移行

社会資本整備総合交付金【平成22年度に創設】

- ・国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金
- ・地方公共団体が行う社会資本に関する基幹的な事業（基幹事業）のほか、関連する社会資本整備（関連事業）や基幹事業の効果を一層高める社会資本整備以外の幅広い事業（効果促進事業）を一体的に支援するための交付金

防災・安全社会資本整備交付金【平成24年度末に創設】

- ・国の平成24年度補正予算により、防災・安全分野に特化した新たな交付金として創設
- ・社会資本整備総合交付金のメニューのうちインフラの老朽化対策、事前防災・減災対策、生活空間の安全対策が本交付金に移行

沖縄振興公共投資交付金【平成24年度に創設】

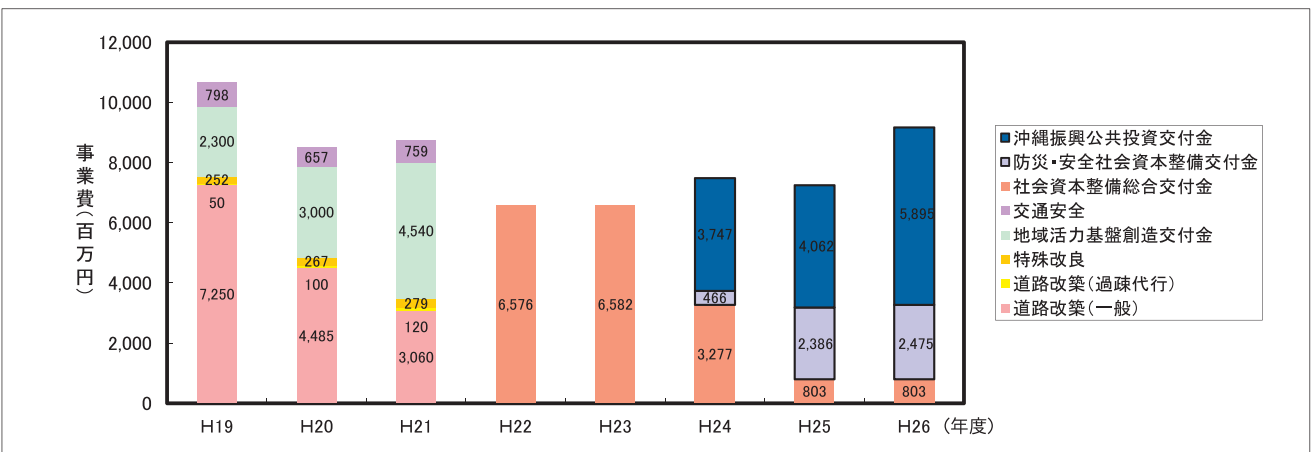
- ・沖縄の実情に即してよりの確かつ効果的に施策を展開するため、沖縄振興に資する事業を県が自主的な選択に基づいて実施できる沖縄振興交付金のうち、投資的経費に対応する交付金として平成24年度に創設
- ・本交付金は、平成23年度に創設された沖縄振興自主戦略交付金を全国制度（地域自主戦略交付金）と同様に事業のメニューを拡充したことに加え、さらに沖縄独自に事業の対象範囲の拡大が図られたもの

市町村道事業の予算推移

（単位：百万円）

	H 19 年度		H 20 年度		H 21 年度		H 22 年度		H 23 年度		H 24 年度		H 25 年度		H 26 年度	
	事業費	対前年度比	事業費	対前年度比	事業費	対前年度比	事業費	対前年度比	事業費	対前年度比	事業費	対前年度比	事業費	対前年度比	事業費	対前年度比
道路改築	7,552	0.892	4,852	0.642	3,459	0.713	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
道路改築（一般）	7,250	0.903	4,485	0.619	3,060	0.682	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
道路改築（過疎代行）	50	0.500	100	2.000	120	1.200	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特殊改良	252	0.750	267	1.060	279	1.045	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地域活力基盤創造交付金	2,300	0.885	3,000	1.304	4,540	1.513	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
交通安全	798	1.267	657	0.823	759	1.155	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
社会資本整備総合交付金	—	—	—	—	—	—	6,576	—	6,582	1.001	3,277	0.498	803	0.245	803	0.999
防災・安全社会資本整備交付金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	466	—	2,386	5.120	2,475	1.037
沖縄振興公共投資交付金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,747	—	4,062	1.084	5,895	1.451
計	10,650	0.911	8,509	0.799	8,758	1.029	6,576	0.751	6,582	1.001	7,490	1.139	7,251	1.102	9,173	1.225

※ 社会資本整備総合交付金は H22 新設。事業費は B、C 事業含む。
 ※ 防災・安全社会資本整備交付金は H24 末新設。
 ※ 沖縄振興公共投資交付金は H24 新設。



11. 離島架橋

本県は、全国でも有数の離島県で、沖縄本島をはじめ、宮古島、石垣島等49の有人島があり、離島架橋については、離島における生活環境施設及び産業関連施設の立ち遅れを是正し過疎化の防止、資源の開発の上からも県政の重要な課題になっています。

今後も離島架橋を推進し、離島の産業基盤の確立、観光資源の開発、文化の交流、教育、医療、福祉の向上など地域の振興を支えます。

番号	橋名	市町村名	区間	完成年度	橋長(m)	道路種別	事業主体
1	桃原橋	うるま市	宮城島～平安座島	S47	17	県道	県
2	奥武橋	南城市	本島～奥武島	S54	92	市道	市
3	羽地奥武橋	名護市	本島～奥武島	S56	77	県道	県
4	伊計大橋	うるま市	伊計島～宮城島	S56	198	県道	市
5	瀬底大橋	本部町	瀬底島～本島	S59	762	県道	県
6	藪地大橋	うるま市	本島～藪地島	S60	193	市道	市
7	慶留間橋	座間味村	慶留間島～外地島	S63	240	村道	県(代行)
8	池間大橋	宮古島市	池間島～宮古島	H3	1425+99	県道	県
9	屋我地大橋	名護市	奥武島～屋我地島	H4	300	県道	県
10	来間大橋	宮古島市	宮古島～来間島	H6	1690	市道	県
11	宮城橋	大宜味村	宮城島～本島	H7	100	国道	国
12	浜比嘉大橋	うるま市	浜比嘉島～平安座島	H8	900	県道	県
13	奥武橋	久米島町	久米島～奥武島	H8	170	農道	県
14	世開橋	うるま市	平安座島～本島	H9	96	県道	県
15	平安座海中大橋	うるま市	平安座島～本島	H9	280	県道	県
16	塩屋大橋	大宜味村	本島～宮城島	H10	360	国道	国
17	阿嘉大橋	座間味村	阿嘉島～慶留間島	H10	530	村道	県(代行)
18	野甫大橋	伊平屋村	伊平屋島～野甫島	H15	320	県道	県
19	古宇利大橋	今帰仁村～名護市	古宇利島～屋我地島	H16	1960	県道	県
20	ワルミ大橋	名護市～今帰仁村	屋我地島～本島	H22	315	県道	県
21	伊良部大橋	宮古島市	宮古島～伊良部島	H26	4310	県道	県

※ 池間大橋の橋長は本橋+開口部橋梁で表示



道路の整備

主な離島架橋の写真



いけい 伊計大橋 ④



せそこ 瀬底大橋 ⑤



いけま 池間大橋 ⑧



やがじ 屋我地大橋 ⑨



くま 来間大橋 ⑩



はまひが 浜比嘉大橋 ⑫



へんざかきょう 平安座海中大橋 ⑮



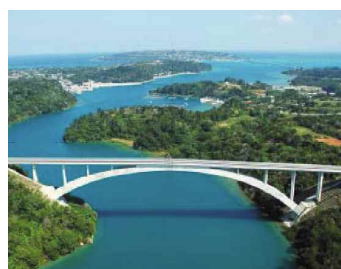
あか 阿嘉大橋 ⑰



のほ 野甫大橋 ⑱



こうり 古宇利大橋 ⑲



ワルミ大橋 ⑳



いらぶ 伊良部大橋 ㉑

12. 沖縄都市モノレール

交通渋滞を緩和し、健全な都市機能の維持、発展を図るため、定時定速性を確保できる沖縄都市モノレールは、昨年8月10日に開業10周年を迎えました。

平成25年度には年間乗客数、1日最高乗客数、のいずれも開業以来の最高数を達成するなど、県民、観光客の足として定着しています。今後も他の交通機関との結節機能充実を図り、更なる需要喚起をおこないます。

また、当初計画より位置づけられている沖縄自動車道との結節による、あらたな公共交通ネットワークの構築に向けた、沖縄都市モノレール延長区間については、平成26年度はモノレールインフラ部下部工及び上部工の工事を推進し、平成31年春の開業を目指します。

モノレール 路線計画図



関連事業

- パークアンドライド(P&R)駐車場の整備
 - 最終駅と沖縄自動車道とを接続するためのインターチェンジの整備
- 中北部地域を含めた定時性の公共交通ネットワークの形成を図る。
- 自動車から公共交通への転換を図る。

